

特別展

# 百面のかたち

One Hundred Noh Masks by Kazumichi Hashioka — the Spirit and the Technique

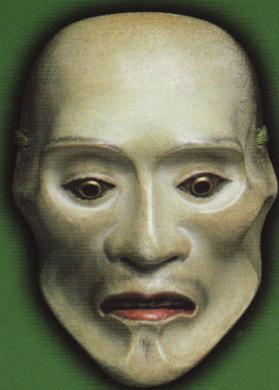
橋岡一路 能面の心と技

2002年 5月28日(火) — 7月7日(日)

午前9時—午後5時 (入館は午後4時30分まで) 休館日: 月曜日  
一般300円 (240円) 小中学生100円 (80円)

※()内は10名以上の団体料金 65歳以上の方および障害者の方は無料  
毎週土曜日は小中学生無料

講演会: 6月1日(土) 午後2時~「能面 その心と技」橋岡一路氏(能面師)



渋谷区立松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL. 03-3465-9421 JR渋谷駅下車徒歩15分/京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

特別展

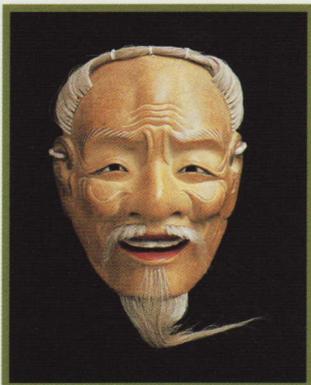
# 百面のかたち

One Hundred Noh Masks by Kazumichi Hashioka — the Spirit and the Technique

橋岡一路 能面の心と技



中將 chūshō



笑尉 waraijō



翁 okina



小面 koomote

○表の写真

- 上段左から 般若(はんじゃ)・深井(ふかい)・翁(おきな)
- 中央 節木増(ふしきぞう)
- 下段左から 瘦男(やせおとこ)・小癡見(こべしめ)・中將(ちゅうじょう)

『風姿花伝』を著した世阿弥と父観阿弥、室町時代初期にこの父子によって大成され、六百年をへて現代に受け継がれてきた日本の能。深い精神性を持ち、厳粛な中に神秘的な幽玄といわれる独特の美意識につらぬかれています。老松と若竹を配した能舞台の凜とした空間性、唐織りの装束の華麗さ、舞や謡曲の優雅さ、能には豊穡な世界を醸し出すさまざまな要素が緊密な関係を生みだしています。

そして能面こそは、もっとも象徴的な存在です。「中間表情」にその特色があるといわれる能面は、能楽師に着けられたとき命を宿し血が通い、真の美しさとともに能の魂があらわれます。神の化身である《翁》、可憐優美な若い女性の《小面》、嫉妬による憤怒をあらわす《般若》、眼窩のくぼんだ死相のただよう《瘦男》、緊迫感あふれる鬼神をあらわす《小癡見》、気品に満ちた青年貴公子《中將》、狂乱する年老いた女性《深井》など。古くから伝わる多彩な面は名だたる能面師が生みだした名品であり、かけがえない私たちの宝として永く後世に伝えられてきました。

現代の能面師橋岡一路氏は、卓越した技量をそなえ、能が伝えてきた心を刻んできました。完成された能面の“かたち”と一点もゆるがせにできない写しの“かたち”、名品と言われてきた多くの能面を今日に甦らせたのです。本面の素晴らしさを写し刻むことによって、これから先、何百年も生きる面を打つことが宿命である、と橋岡氏は言います。

本展は作者にとって百面の記念となるものであり、生涯の区切りとなる展覧会です。鮮やかな絵模様の扇や謡本、唐織の装束などをあわせて展示し、華麗なる幽玄美をたたえる能の世界を堪能いただけることでしょう。

### 【講演会】

6月1日(土) 午後2時～「能面 その心と技」橋岡一路氏(能面師)

### 【美術相談】

6月15日(土) 午後2時～ 講師 宮田翁輔(油彩) 大和屋巖(水彩)

7月6日(土) 午後2時～ 講師 茂登山東一郎(油彩) 北尾和子(水彩)

### 【美術映画会】

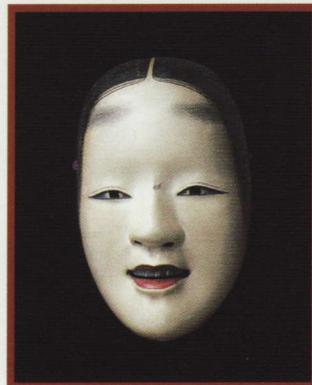
6月23日(日) 午後2時～

「京都の魅力 美のすべて」シリーズより「洛北」

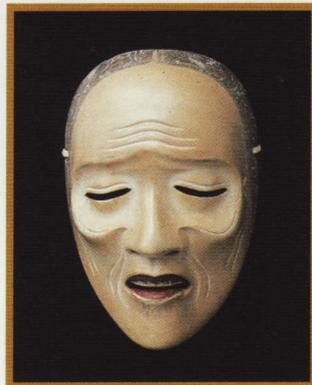
「近代絵画とモダニズム—マネからポロックまで—」シリーズより「キュビズムとモダニズム」

### 【ギャラリートーク】

6月6日(木) 午後2時～ 担当学芸員



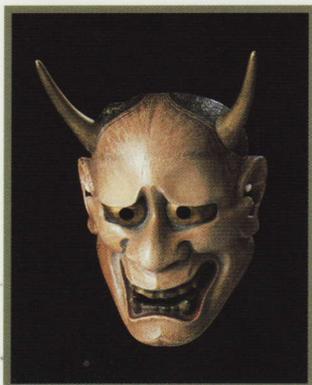
節木増 fushikizō



姥 uba



猿飛天 sarutobide



般若 hannya

次展予告

7月23日(火)～9月8日(日)

20世紀写真の探案 写真のモダニズム/ジャポニズム  
石田喜一郎とシドニーカメラサークル